

## 「いもちおくり」伝統復活への挑戦!! 滋賀県近江八幡市島町 暗闇の中、40haの水田一帯に多数の炎の帯がゆらめく幻想的な情景を町民総出で再現!!

ホームページ= <http://www.zc.ztv.ne.jp/shimacho/>

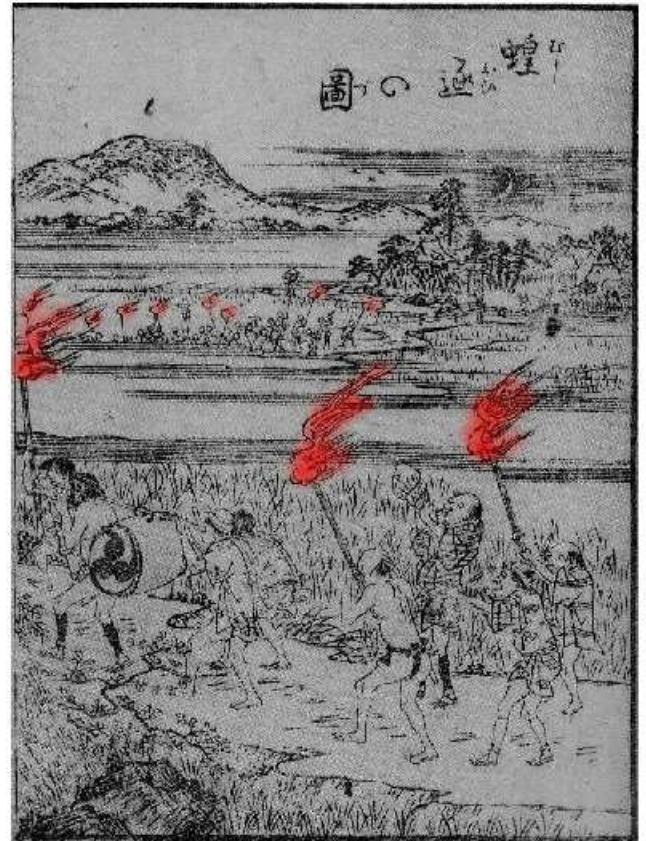
### はじめに

周知のとおり、一昨年老人クラブが復活させた島町伝統の「ほんがら松明」は、ドキュメンタリー映画として記録され、保存会も発足し、いまや「地域の誇り」として、若い世代も含めたまちづくりのシンボリック的存在になりつつあります。

先人が工夫を凝らして編み出した「ほんがら」ならではの迫力、点火時の一体感、火が出た瞬間の充実感は、祭りに参加する地域住民の心を結びつけると同時に、他所から見てもたいへん魅力的で、休暇村からバスが出るなど、外部からの客も増えています。

一方、大嶋奥津嶋神社の氏子2町（島町、北津田町）で行われているもうひとつの火祭り「いもち送り」も、関係者のご努力により継続はしているものの、どんがら松明同様、その内容は簡略化されてしまっているのが実情です。

かつてのいもち送りの幻想的な情景を再現することによって、地元の若い世代にとっても、他所の住民にとっても、今まで知らなかったまちの新たな魅力や先人の思いに気づき、このまちをこれからも大切に守り育てていこうとする機運を高めるきっかけにしたい、と考え、以下の取り組みを今年から実施することになりました。



かつての「いもち送り」のイメージ  
(出典=「近江八幡の歴史 第三巻」p.287)

### 事業概要

- 実施日：2009年6月13日（土） 19:00～
- 主 旨：現在のように役員が行列して歩くのではなく、かつてのように、地主や耕作者が、暗闇の中でそれぞれ自分の水田の畦道に沿って松明をかざし、虫追いをし、歩いた往時の幻想的な情景をできるだけリアルに再現する。  
(詳しい内容は次ページを参照)

- 参加者：島町全戸に呼びかけ、1戸から1人以上参加してもらう。  
子供会にも呼びかけ、子ども達にも参加してもらう。  
自治会を通じて町内に呼びかけ、参加者以外も見学に出てきてもらう。  
マスコミにも広報し、報道関係者や他所からの客にも情景を見ていただく。
- 準備：
  - ・松明は60本以上製作予定（作業＝6/7（日）8：30～@若宮神社）
  - ・製作は改良組合役員、人なごむ奥嶋地域協議会役員、箱庭の里奥嶋の集い役員、ほんがら松明保存会メンバーなどで行う
  - ・材料は地元調達（竹は3月初旬に30本程度切って取り置いてある）
  - ・農山漁村地域力発掘モデル事業の一環として実施し、経費は補助金から支出



【写真】現在のいもち送り行列

（出典：「近江八幡の歴史 第三巻 祈りと祭り」 p.289）

## 参 考

### ●現在のいもちおくり祭

大嶋・奥津嶋神社では、氏子である北津田町と島町の住民により、6月の第三土曜日にイモチ送りが行われている。昭和40年（1965）頃に一度途絶えたが、昭和55年（1980）頃に復興されて、今に続けられている。イモチ送りは、虫送りとも呼ばれ、神社では攘蝗祭と名付けられている。午後7時過ぎより、本殿前で宮司、氏子総代、両自治会長、両農業改良組合長、改良組合の各組の役員が出席して、神事が営まれる。そのあと宮司により本殿前から移された火で松明に点火される。松明は3メートルほどの長さの竹に麦藁・稲藁を巻き付け、先端に菜種殻を付ける。両町の各農業改良組合の役員6人ずつから各1本、合わせて12本の松明が出る。宮司を先頭に、役員が弓張提灯を手にし、組合員が松明を持って列を作り、各々が「イモチ おーくれ おーくれ」と声を掛けながら歩く。松明を持った人は火が消えないように、また燃え過ぎないようにしながら、松明を田にかざして虫を集めるような格好をして進む。神社を出て東へ進み、南へ折れて島小学校の横を通り、長命寺川に架かる渡合橋を渡って、川沿いに下がり、北津田橋まで行く。そこで松明を一カ所に集めて燃やし、宮司による祝詞、拜礼などが行われ、行事は終了する。帰りは虫が付いてこないように提灯の火を消して帰る。

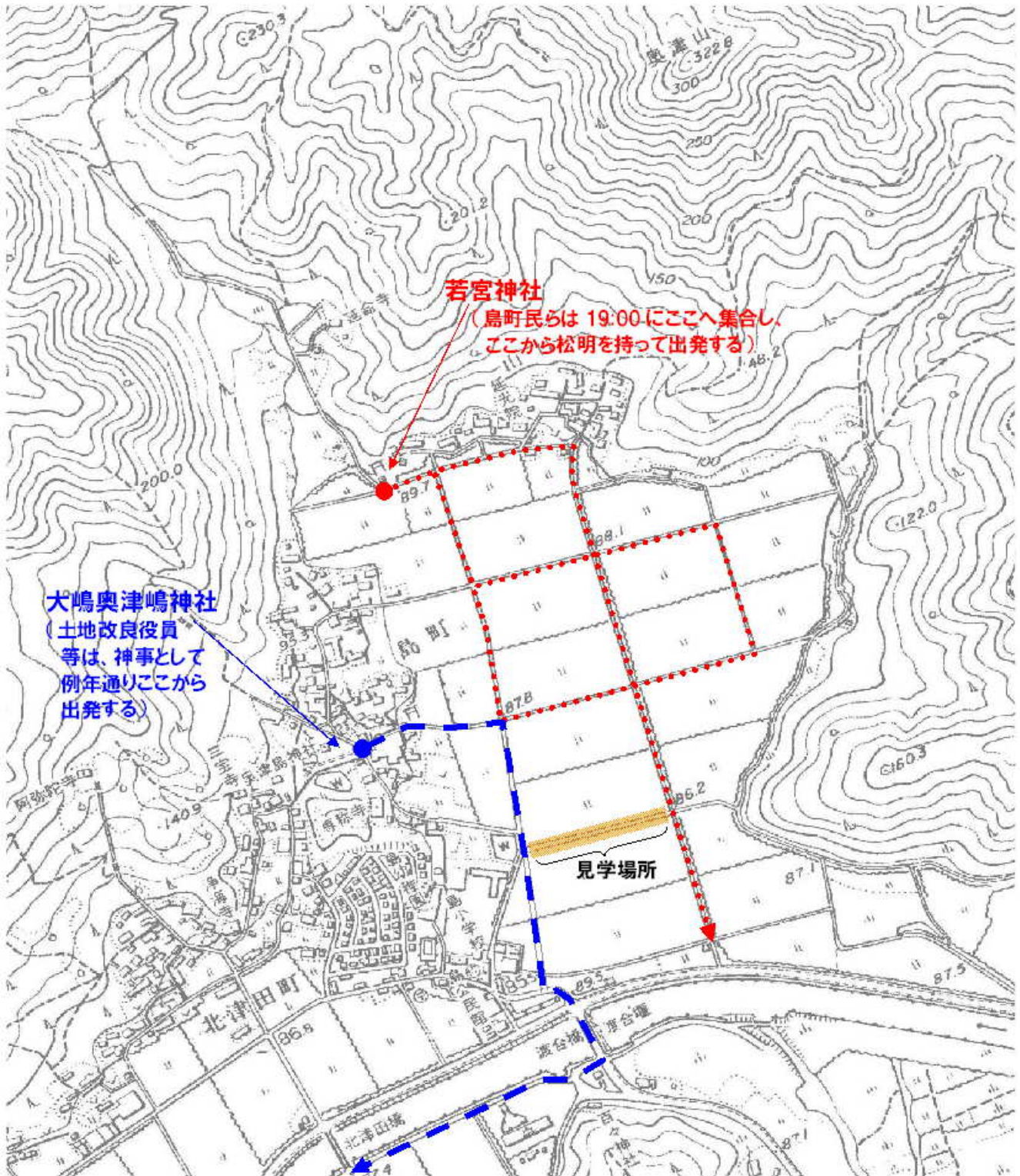
（出典：「近江八幡の歴史 第三巻 祈りと祭り」 p.288）

### ●かつてのいもちおくり祭

旧島村はセヶ字あり、昔は7月12日頃、川上の円山から順番に1日ごとに虫送りをしたという。各家から松明を出し、男の子どもも松明を持った。渡りの道も各自の田へ足を運んだのでまちまちであった。松明の火は代表者が神社でもらい、それを田まで持ってきて皆の松明に移した。松明のほかにも10人あまりで担ぐ中太鼓を出し、打ちながら渡った。島は長命寺川の渡合橋まで、北津田は北津田橋まで松明を持って行き、そこで川へ投げ入れた。

（出典：「近江八幡の歴史 第三巻 祈りと祭り」 p.289）

# ルート図



## 【本件に関するお問合せ先】

人なごむ奥嶋地域協議会事務局 (担当:中川豊一) まで

Tel: 090-4902-9635

Email: t.nakagawa-pones@e-omi.ne.jp

URL: <http://www.zc.ztv.ne.jp/shimacho/>